

三芳町まちづくり懇話会 報告書

令和7年度
(令和7年8月)

1. まちづくり懇話会 概要報告

住民の皆さんの声を町の政策形成に反映させるため、各行政連絡区のご協力のもと、まちづくり懇話会を開催しました。今年度は、行政連絡区毎に集会所にて開催し、4日間合計で300人以上の方にご出席いただきました。今年度は町からの情報発信として「子どもにやさしいまちづくりの取組」、「藤久保地域拠点施設整備」等について町長より説明をしました。

その後の意見交換の時間には、会場から活発なご意見やご質問をいただきました。いただいたご意見は、今後のまちづくりへ活かし、町の政策形成に反映してまいります。



開催日		開催時間	行政連絡区	開催場所	参加者数 (人)
6 月	2 1 日 (土)	10：00～11：30	藤久保1区	藤久保第1区第2集会所	22
		13：00～14：30	藤久保3区	藤久保第3区 第2集会所	35
		15：30～17：00	北永井1区	北永井第1区集会所	42
		18：00～19：30	竹間沢1区	竹間沢第1区集会所	23
	2 2 日 (日)	10：00～11：30	みよし台1区	みよし台第1区集会所	35
		13：00～14：30	北永井2区	北永井第2区集会所	15
		15：30～17：00	藤久保4区	藤久保第4区集会所	29
	2 8 日 (土)	10：00～11：30	藤久保6区	藤久保第6区集会所	24
		13：00～14：30	上富1区	上富第1区集会所	28
		15：30～17：00	上富2区	農業センター	18
		18：00～19：30	上富3区	上富第3区集会所	15
	2 9 日 (日)	10：00～11：30	藤久保2区	藤久保第2区集会所	38
		13：00～14：30	北永井3区	北永井第3区集会所	21
		15：30～17：00	藤久保5区	藤久保第5区第2集会所	20
参加者数合計					365
一会場あたりの平均					26

2. まちづくり懇話会 当日意見・質問

まちづくり懇話会当日に住民の皆さんからいただいたご意見やご質問については、以下のとおりとなります。

分野別意見割合

分 野	意見数	割合
まちづくり全般	18	16.7%
公共交通	18	16.7%
自治・防犯・防災	16	14.8%
道路	15	13.9%
拠点施設	13	12.0%
環境	8	7.4%
教育・文化	8	7.4%
健康・福祉	7	6.5%
自然・公園	3	2.8%
都市計画	2	1.8%
合計	108	100.0%

当日のご意見・ご質問に対する町の見解

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
1	道路	藤久保1区	ベルク藤久保店から唐沢小学校までの道（竹間沢・大井・勝瀬通り線）沿いにある俣埜ポケットパーク前の横断歩道について、歩行者が居るにもかかわらず、一時停止しない車が多い。役場から警察に対してパトロールの強化を要請してほしい。	当該横断歩道付近については、令和7年度中に道路築造工事に伴う車道舗装の打換えを予定しております。その際に区画線や路面標示の再塗装を行いますので、歩行者視認に効果的な路面標示の追加も検討し、道路管理者としてもできる限りの対策を考えて参りたいと思います。
2	道路	藤久保1区	県道三芳富士見線の鶴馬交差点に設置されている歩行者用信号について、青信号の時間が短い。身体障がい者の方や高齢者の方が横断歩道を渡り切れず、苦勞していることが多い。役場から警察へ時間延長を要望してほしい。	当該交差点は3現示（3サイクル）の信号周期であり、各サイクルに割り当てられる点灯時間が通常より短くなっていることが要因と思われます。町外の交差点ではありませんが、鶴瀬駅へ向かう三芳町住民も多く利用されていると思いますので、所轄署である東入間警察署へ要望内容を伝えさせていただきます。
3	公共交通	藤久保1区	コピスみよしにてイベントが行われる際、駅からのアクセスとしてはライフバスがあるが、北永井地域からアクセスする方法がない。町として、イベントを行う際のアクセスを考えてほしい。	今年度運行予定の町内循環ワゴンにおいては、北永井地域も役場へアクセスできるルートとして設定しているため、まずは循環ワゴンを活用していただきたいと考えます。今後、イベント等がある際のバスの増設は検討して参ります。
4	自治・防犯・防災	藤久保1区	集会所・役場会議室・ふれあいセンターを借りる際に不便である。集会所を借りるときは誰に連絡するのか等、どこへ電話して確認を取れば良いかインターネットで調べてもわからない。和光市では、借りたい施設に人がいて、予約できるので簡潔である。また、集会所は住民であれば借りられるはずなのに、藤久保1区は区民のみ、2区は誰でも借りれる等、制度がバラバラ。集会所を借りる際も使用料が必要だが、インターネットで調べると使用料は取ってはいけない記載もある。使用料の内訳を聞くと、トイレットペーパー代と聞いた。トイレットペーパー代として一日に何千円も取るのが理解できない。集会所については、どこでも使える場所としてほしいと考える。	集会所の管理は、町が各行政連絡区に委託をして、それぞれが地域の実情に応じた運営をしている状況でございます。集会所の利用申込みについては、町ホームページにもあるとおり、各行政連絡区の区長、副区長、役員に申込むことになっております。また、集会所の管理・運営上の観点から、費用を徴収している行政連絡区があることは実態として把握しております。今回いただいたご意見等は、区長会定例会議に報告するとともに、今後について意見交換等を行いながら考えていきたいと思ひます。
5	健康・福祉	藤久保1区	フレイルサポーターとなったが、活動できる場所がない。ふれあいセンターは利用できる、それ以外の場所は申請が必要、役場も担当者がいないと利用できない状態で、どのように活動すれば良いのかわからない。高齢大学サークルとして麻雀教室を開催した際、公民館は使用できるが集会所・ふれあいセンターは使用不可。いろんな人を巻き込んで健康麻雀をしたくてもできない。改善をしてほしい。	ふれあいセンターで麻雀を行うことについて、禁止してはおりません。ただし、団体としての登録が必要となり、ふれあいセンターのホールを予約していただく必要がございます。また、麻雀卓や麻雀牌などは、ふれあいセンターにはございませんので、ご自身でご用意していただく必要がございます。
6	健康・福祉	藤久保1区	回答は不要のため、投げかけだけ。 夏のボランティア体験プログラム参加者募集中（三芳町社会福祉協議会が実施するプログラム）とあり、ボランティア保険として310円を払わなければ参加ができないと記載がある。貧富の差も広がる中、300円を払うなら参加を見送る人もいると思う。そういったことも考えて事業推進を図ってほしいと思う。	貴重なご意見として頂戴し、担当課とも話をして参ります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
7	環境	藤久保1区	現在町では土や小石の回収をおこなっていない。3ヶ月に1回程度、回収日を設定し、集会所に集めるなどの対応で、回収業者による収集をしてほしい。	土や石などは環境センターで処理をすることができない処理困難物にあたるため、町では収集できないゴミとしております。 町では、プランターなどの土の処理についてお困りの声もあることから、処理困難物の有償回収を町内業者の協力を得て町役場駐車場で3月に実施したところ、多くの方にご利用いただきニーズが大きいものであると感じております。 今後、この処理困難物の有償回収の開催場所や頻度について検討するため、協力業者と相談を重ねて参ります。
8	自然・公園	藤久保1区	エコヴィレッジ鶴瀬の隣にある俣埜第4子供広場について、植え込みの中にゴミが溜まっているが、植込みが邪魔でゴミが拾えない状況。植え込み内を清掃することや、ゴミを拾いやすくなる方法を考えてほしい。	植込みの中のゴミについては除去しました。繁茂の刈込につきましては、現状以上に実施できるかを含め検討しております。パトロールも引き続き実施します。また、子供広場の管理については、できる限りのご協力を行政連絡区にお願いしております。特に清掃や雑草の除草などの作業についてをお願いしておりますが、作業上難しいと思われる場合は、公園担当にご相談ください。
9	環境	藤久保1区	町道幹線20号線の不法投棄について。 以前、該当地は私有地のため、勝手な対応はできないと回答を貰っているが、敷地内はできないとしても道路側に塀を造るなど、これ以上不法投棄をさせずに安心して通れる道にしてほしい。	私有地への不法投棄物の撤去については、原則として土地の所有者（管理者）が行っていただくこととなりますが、費用面や心情面で撤去が進んでいかない状況です。町では費用面での支援として撤去費用に対する補助金を創設いたしましたが活用いただけれておりません。 この状況が継続していくことは周辺環境にも影響を与えますので、撤去から再発防止策を講じるまでの部分について、町として積極的な関与を行うべく検討を進めて参ります。
10	自治・防犯・防災	藤久保1区	震災について。避難所として学校体育館を活用すると思うが、人数的に溢れないか、男女のスペース問題、トイレ問題等があると耳にする。町が現在考えている対策を教えてほしい。また、町にある空き地をキャンプ場にして、震災時に活用するなど、いろんな意見を吸収して震災に耐えられる町にしてほしい。	各自治体で地域連携避難訓練をおこなっており、避難所のある学校地域の皆さまが協議をし、対策を考えております。運動場や畑を活用し避難所とする対応はできると考えます。能登半島地震の際には職員の派遣をおこない、持ち帰ったものを町の防災に取り入れております。
11	自治・防犯・防災	藤久保3区	空家の住宅の木の枝が伸び、住民の家まで浸食をしていた。役場の空家対応の係に連絡した際に、すぐ行くと言ったっきり。行ったかどうかもわからず、結果もわからない。（結果的には所有者が対応してくれていた） また、空地の樹木が公道に1m程度伸びており、自動車が通るのに支障が生じている。空家対策担当者に話をしたらすぐ来てくれた。しかしながら、結果の対応に関する報告連絡がなく、失望した。（知り合いを通じて、問題の解決はできた）	地域住民等から空き家に関する相談を受けた際は、現地調査を行い、相談者に対して今後の流れ等の概要を説明するようにはしておりますが、相談者が不在の場合もございます。相談者と継続的に確認がとれない場合については、手紙をポストに投函するなどして情報共有を図っていきたいと思います。また、空き家対策は自治安心課以外の課（室）にも担当がまたがっておりますので、各所属の職員にも周知徹底して参ります。
12	健康・福祉	藤久保3区	今後ふれあいセンターをどうするのか。中期・長期計画の方針を聞きたい。	元々上富に老人福祉センターがありましたが、老朽化の問題で取り壊すこととなりました。その際に、藤久保地域拠点施設に移行するまでの間、一時的に現在のふれあいセンターをお借りすることになりました。 今後は、循環ワゴンなどを活用し、藤久保地域拠点施設や公民館等を活用していただくことになると考えております。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
13	拠点施設	藤久保3区	藤久保地域拠点施設の交流室図面を見ると、椅子は42脚・50人は利用できるという話だが、安全な空間設計やカラオケ機材置き場、ステージ等を考えると40人程度しか利用ができないと思う。そのあたりも考慮してほしいと思う。	藤久保地域拠点施設にはホールもありますので、柔軟に使い分けることは可能となっております。
14	拠点施設	藤久保3区	藤久保地域拠点施設の交流室の図面をみると、壁が無く、ガラスみたいに外から見えてしまう。外からの目線が気になる。また、冷蔵庫を用意する等、高齢者に優しい使い方ができる導線を考えてほしい。	藤久保地域拠点施設では、様々な活動が表出することにより新たな交流が生まれることを目指し、比較的ガラスによる間仕切りを多用しています。交流室については、外部側はブラインド、廊下側はロールスクリーンにて視線を遮って利用することもできます。冷蔵庫については老人クラブ連合会より福祉課を経由して要望があったと認識しております。設計にあたり福祉課と調整した結果、現在の交流室から近い給湯室に設置スペースを確保したものとなっています。また、藤久保地域拠点施設3階には、大会議室の設置を予定しており、他の施設の影響を受けることなく独立した使用ができます。藤久保地域拠点施設では、様々な部屋があることが特徴であるため、活動に合わせて部屋を利用していただければと思います。
15	拠点施設	藤久保3区	道の駅の課題は収益と思う。第三セクターでギリギリの運営の道の駅も多い。世界農業遺産の情報発信、防災拠点、道の駅を一緒に考える必要はなく、道の駅に集中して収益を念頭に置いた検討も実施してほしい。ランニングのコスト、収益をどう考えているのか教えてほしい。	道の駅の研究を行う中で立地の重要性を感じたところであり、三芳スマートIC付近は好立地であると考えます。小川町の道の駅は、麺や芋・海の幸などを物販し、多くの人が訪れるような収益を第一にした道の駅となっております。採算等は今年度策定をする整備計画で考えていきたいと思っておりますので、何かございましたら、ご意見を伺ってきたいと思います。
16	健康・福祉	藤久保3区	社会福祉協議会でお手伝いをしている中で、子どもの貧困の問題がある。こども食堂、学習支援（引きこもり対応、家庭生活支援）に取り組んでいると聞く。町で子どもの貧困に対する援助を行っていただきたいと考えているが、いかがか。	こども食堂及び社会福祉協議会の取組に対して補助金を交付しておりますが、ご意見を伺いニーズ把握をしながら対応していきたいと思います。また、CFCI事業の中で、他自治体の支援を参考にしながら対応を検討して参ります。多くの子どもが居場所を見つけることが難しい中で、全庁的なチームをつくることも検討しております。今すぐではないかもしれませんが、社会福祉協議会とも話し合いをしておりますので、今後の動きに期待していただければと思います。
17	教育・文化	藤久保3区	読売新聞に学校給食費の記事があり、16市町村のみが無償化をしていると見た。三芳は4月～7月までと中途半端なのは何故か。	学校給食費の無償化は、経常的に年間1.4億円ほどの支出が発生するため、持続可能な財政を考えると、なかなか着手ができないのが現状です。第3子、第2子から段階的に実施するなど考えられますが、国の政策として全国一律で進めてほしいと考えております。
18	道路	藤久保3区	「止まれ」の標識が削られているところが多い。対応してほしい。	「止まれ」標識は規制標識となるため、管理者は警察となります。そのため、町内パトロールにて破損等を発見した際には、町から所轄警察署へ修繕要望をいたします。また、破損や視認性の悪い標識を発見した際はお手数ですが所轄警察署か三芳町役場までご連絡をお願いいたします。
19	道路	藤久保3区	町道幹線16号線にある交差点の赤枠が見えにくい。黄色にしてみようか。	黄色は規制線になってしまうため、使用できないと考えられます。赤色は「注意の色」として使用されています。
20	道路	北永井1区	スマートICフル化による道路の混雑状況について、方策を考えているか。	フル化の前後で交通量調査を実施し、交通量が増えた場所・減った場所がそれぞれありますので、状況を見ながら対応して参ります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
21	道路	北永井1区	スマートIC付近の出入口に信号がないが、設置してほしい。現在の事故状況を教えてほしい。 また、こすず幼稚園の前の道路（町道幹線14号線）で4t車も通るが、規制できないか。	スマートICの出入口に信号を設置することについては、セントラル病院の信号に近く、信号設置は様子見となっております。事故はなく、譲り合いのおかげではないかと感じております。 また町道幹線14号線については、警察とも協議を実施しており、車種規制は難しいものとなりますが、案内標識や注意看板、グリーンベルト、ポラード等により大型車を誘導しない対策を実施させていただいております。
22	公共交通	北永井1区	循環ワゴンは、ライフバスのように利用できるのか。	バス停を設置し、定時定路線での運行を予定しております。
23	自治・防犯・防災	北永井1区	自治会からの脱退について。班長をやりたくないという理由から解散する班もある。まちづくりに参加する意識、参加したくなる意識を持ってもらえると、より良い町になると思う。	行政連絡区の加入率低下は大きな問題となっており、町としても様々な補助金等を行っております。引き続き情報を発信し、関心を持っていただきたいと考えております。
24	都市計画	竹間沢1区	浦和所沢バイパス～みずほ苑までの道路（都市計画道路）はいつ頃実現されるのか。目途を知りたい。	今年測量を行い、数年をかけて工事を分割して進める予定となっております。おおむね10年以内には実現したいと考えております。
25	都市計画	竹間沢1区	竹間沢通西地区の区画整備の早期実現を望む。 地権者の同意も100%取れた。区画整備の早期実現に向け、協力をしてほしい。	100%の同意を得られたこと、喜ばしく思います。立地も良くニーズも高い地域であるため、業務代行予定者と必要な整備を積極的に進めていきたいと思います。
26	教育・文化	みよし台1区	幅広い中学生に海外派遣に行ってほしいと考えるが、家庭状況によっては、負担が難しいケースもある。そのため、無償で参加できると良い。また、選考の基準も明確にしてほしい。	費用負担として、三分の一をご家庭に負担いただいておりますが、多くの学生の方に参加していただけるよう考えて参ります。 なお、選考はエントリーシートにより面接を行っており、作文と面接で総合的に判断を行っております。
27	まちづくり全般	みよし台1区	昨年度のまちづくり懇話会にて、地域の外国人との交流について意見を述べた。昨年のみよしまつりでは、日本語教育のブースもあった。その他計画や検討されている取り組みを聞かせてほしい。	今年度はデフリンピックの兼合いでマレーシア選手団が来町しますが、マレーシアに限らず、こうした取組により国際交流を通じた共生社会が広がってほしいと考えております。 また、韓国ハドン郡の中学生を受入れるホストファミリーを募集した際に、在日韓国人の方もホストファミリーとして応募いただきました。こういった様々な機会を通じて、多くの国の皆さんと交流をしたいと考えております。
28	健康・福祉	みよし台1区	高齢者福祉の一環として、ふれあいセンターの強化をお願いしたい。現状のふれあいセンターは、夏は暑く、冬は寒い。また、他自治体ではお風呂があったり、遊べる施設があったりする。藤久保地域拠点内にふれあいセンターのような高齢者福祉施設を導入するなど、検討いただきたい。	ふれあいセンターは、上富の老人福祉センターから藤久保地域拠点施設へ移転するための一時的な居場所として場所をお借りし運営をしていました。今後は、藤久保地域拠点施設に機能を集約し、足りない部分は公民館等を利用できるように配慮をしていきたいと考えます。
29	健康・福祉	みよし台1区	朝霞市では、新規高齢者交流室として、アパートやマンションの一室を借りて、高齢者の活動拠点を設ける取組を行っており、三芳町でも高齢者政策として、高齢者の居場所づくりを考えてほしい。	自宅付近で高齢者の方が憩える場を提供するため、空き店舗や空き家の活用について検討することはできると思います。 また、公共施設マネジメント計画に記載されている北永井児童館廃止について、今後どのようにするか懸案事項となっております。子どもの居場所だけでなく、高齢者等の皆さまが利用できる場所として検討して参ります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
30	環境	みよし台1区	町道幹線20号線のゴミがひどい。最近、チームオレンジのメンバーとなり協力できる部分もあると思う。該当エリアの林を借り上げ、環境モデル地区のように設定し、地域ならではの植物の自生を促す取組を行ってほしい。もし、予算の関係で難しいのであれば、クラウドファンディング等の活用も検討して欲しい。海外の人が来た際に、その道を避けるのではなく、知恵を集め、対応を行ってほしい。住民として協力できる部分は対応したい。	私有地への不法投棄物の撤去については、原則として土地の所有者（管理者）が行っていただくこととなりますが、費用面や心情面で撤去が進んでいかない状況です。町では費用面での支援として撤去費用に対する補助金を創設いたしましたが活用いただけておりません。 この状況が継続していくことは周辺環境にも影響を与えますので、撤去から再発防止策を講じるまでの部分について、町として積極的な関与を行うべく検討を進めて参ります。
31	公共交通	みよし台1区	みよし台の高齢化率は三芳町の中でも非常に高い。まちづくり懇話会等に出席できる高齢者は元気な高齢者の一部。大部分の高齢者は、役場や集会所、病院に行く交通手段がひっ迫している。みよし台、竹間沢はライフバスの利便性が高くない。タクシーは運転者不足により、なかなか来ない現状もある。そのため、循環ワゴンありがたい。しかしながら、施策を打って、使われなかったからすぐやめるというのはやめてほしい。高齢者の利用の浸透には時間がかかる。また、1時間に1本だと少ないため、よりきめ細かい対応を考えてほしい。当初案で1年間通して実証運行をするのではなく、半年ごとにチューニングするなど粘り強く対応を行ってほしい。	みよし台地域については、循環ワゴンのルート内に入っております。本数については実証運行を行いながら見直しを行うこともできると考えます。また循環ワゴンについては、継続して取り組んでいくことを想定しており、皆さまにご利用いただきながら、ご意見を伺い改善等を図って参ります。
32	公共交通	みよし台1区	病院や役場を繋ぐ循環ワゴンは、午前利用がメインの利用と想定される。単純に1時間に1本走らせるのではなく、半年ほど利用状況を見ながら、午前中に1本増便するようなことは考えてほしい。また、これから7月8月と暑くなる。1時間に1本ということでバスを待ちながら熱中症になるようなことは困る。	今回は、お示ししたルート案にて実証運行を行う予定となっておりますが、利用状況を見ながら、ルートや本数等を検討して参ります。 また、時刻表を作成しますのでご活用いただき、炎天下の中で待ちすぎることはないようご注意くださいと思います。
33	公共交通	みよし台1区	循環ワゴンのルート案について、逆ルートの想定はあるのか。	運転者不足等の課題もあり、結果的に1時間1本の運行を予定しております。また、逆ルートを追加で導入する場合、ワゴンの台数確保・維持費等も膨らむことが想定されるため、難しい状況となります。実証運行の中で、改めて検討して参ります。
34	公共交通	みよし台1区	循環ワゴンについて。あと何分後くらいにバスが来るか等はスマホで検索できるようにするのか。	バスロケーションシステムの導入を予定しております。
35	公共交通	みよし台1区	循環ワゴンも大切であるが、タクシーも利便性に優れている。利用の中でタクシーのサービスが低下しているように感じる。電話予約の対応でも断られたり、運転のスピードが早すぎる等。行政側から指導いただきたい。	事業者との懇談機会がありましたら、お伝えします。
36	環境	みよし台1区	電柱（み-1-19）付近にゴミが散らかっており、カラスが荒らすケースが発生している。 前のアパートの方が歩道にゴミ出しをしていることが原因である。 該当者は外国の方であり、家主経由で役場からゴミ箱の設置等を指導してほしい。	ゴミ集積所の管理についてはその利用者間でしっかりと行っていただくことが原則となっております。本件については適正な管理が十分でない集積所として環境課でも把握しており、アパートの管理会社と連絡を取り、夜間のゴミ出しや分別不徹底等について、適正なゴミ出しとなるよう指導しております。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
37	公共交通	みよし台1区	循環ワゴンについて。サンライトマンションに住んでおり、周辺住民はイムスや藤久保公民館への移動が多い。同利用を想定した際に、みずほ台から竹間沢を回っていくルートは遠回り。なぜそのルート考えたか不思議に感じる。遠回りをするのではなく、みよし台から直接役場経由、イムス経由、藤久保へ行くのが良いと考える。なぜ竹間沢を通るのか。循環する運行は9運行のうち半分とし、残る半分の直通運行としても良いのではないか。移動に時間がかかりすぎると利用しなくなる。デマンドでも価格は魅力的であったが、遠回りがネックとなり利用が伸びず、採択には至らなかった。その辺りも考えてほしい。	竹間沢地区にはライフバスが通っていない地域があり、バスを利用したい方もいるため、今回は3ルート運行を予定しております。直通便や逆ルートを追加で導入する場合、ルートが6本等に増加し、ワゴンの台数確保・維持費等も膨らむことが想定されます。循環ワゴンがすぐに廃止となることがないように、維持費も重要な観点となります。そのため、まずは実証運行を行い、運行しながら最適なルート等について皆さまと一緒に考えて参ります。
38	公共交通	北永井2区	循環ワゴンについて。料金や乗れる人（町内・町外とも対象か）について教えてほしい。	料金については、ライフバスと同様の価格帯で、一律料金とする予定です。また、対象者については、町内・町外を問わず、利用が可能となります。
39	公共交通	北永井2区	循環ワゴンについて。ロケーションシステムが便利であり、活用してほしい。またデジタルサイネージ等により、位置までわかると便利。	ご意見いただいたバスロケーションシステムについては導入を予定しております。また、実証運行を終え本格運行となった際には、デジタルサイネージ等も検討して参ります。
40	公共交通	北永井2区	循環ワゴンについて。バスのサイズはどれくらいか。ライフバスとの違いは何か。	車種はワゴンタイプとなります。ライフバスとの違いについて、循環ワゴンについては、ライフバスの運行がないルートを通る点となります。
41	自治・防犯・防災	北永井2区	行政連絡区の加入率を上げることと、循環ワゴンを組み合わせで考えられないか。加入者に対して料金のクーポンを配布する等、加入者へメリットを出すことはできないか。	循環ワゴンによる加入率改善については、難しいと考えます。地域コミュニティ活性化事業支援補助金や、今年度追加したDXメニュー等でメリットを見出せればと考えます。
42	道路	北永井2区	スマートIC付近は、企業としても立地が良いはず。誘致先を企業自ら探すのではなく、窓口等で丁寧に案内を行い、誘致を促してほしい。	道路交通課にて誘致先の案内を行っており、相談を行う体制を取っております。
43	自然・公園	北永井2区	子どものボール遊びができる場所を増やしてほしい。小学生にとってボール遊びができる上富の公園は遠すぎる。公園でもボール遊びができず、道路でボール遊びを行っても、学校ヘクレームが入るなど、子どもの居場所がない。都内では5mほどの金網を公園に設置し、バスケットや野球ができる環境を整えている。藤久保5区のなかよし広場等で金網を設置し、ボール遊びができると良い。	上富の木ノ宮第3子供広場に限らず、他の公園でも地域の皆さまのご理解があれば、ボール遊びはできると考えます。今回は、上富の公園にて試行的に行いましたが、今後も地域と相談をしながらボール遊びができる場所を検討していきたいと思います。また、プレイパークは子どもが自由に遊べる施設で、今年度は試行的に出前プレイパークを実施する予定です。児童館や上富小学校の跡地にプレイパークの設置検討を行っており、検討の中でご意見をいただきたいと思います。
44	まちづくり全般	北永井2区	町長から説明いただいた内容は、私自身知らない点多かった。広報みよしで見る機会はあるが、スマートフォンを通して情報を得られるようになると良い。今後検討していること等があれば教えてほしい。	SNSやホームページ、町の公式LINE、広報みよし等で情報発信を行っております。しかしながら、今考えていること、やろうとしていることの情報発信は遅れているようにも感じるため、皆さまにわかりやすく情報発信ができるよう考えて参ります。
45	まちづくり全般	北永井2区	三芳町の学校給食センターのInstagramで給食情報を発信しているが、良い取組。児童生徒の親や卒業生が登録すると思うので、もっと取組をわかりやすく発信してほしい。	承知しました。
46	教育・文化	北永井2区	小学校の給食で4か月間無償となり、物価高騰の中、大変助かる。東京都は年中無償となったが、三芳町の給食費の見通しを教えてください。	学校給食費の無償化は、経常的に年間1.4億円ほどの支出が発生するため、持続可能な財政を考えると、なかなか着手ができないのが現状です。第3子、第2子から段階的に実施するなどは考えられますが、国の政策として全国一律で進めてほしいと考えております。
47	まちづくり全般	北永井2区	三芳町で学校給食費の一部無償化になったことが何回かあったが、告知としてサイレントに感じる。無償にしたことをホームページ等で積極的にアピールしてほしい。	学校給食費の無償化については、国の交付金を活用し、実施しております。読売新聞にて三芳町の給食費無償化に関する記事もありましたので、引き続き発信を強化して参ります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
48	まちづくり全般	北永井2区	広報みよしについて。20数ページもあるため、目次があると見やすい。	読者それぞれで欲しい情報が異なると思われるため、インデックスがあると情報検索しやすいと考えます。紙面構成の問題もありますが、他団体の状況も見ながら研究して参ります。
49	自治・防犯・防災	北永井2区	防災に関して。東日本大震災の時も、夜などに泥棒が発生したと聞く。命は助かったが、家に帰ったら大切なものが失われていれば生活や心を立て直すこともままならない。災害時の防犯も防災の一部として考えてほしい。	重要な視点からのご意見であると感じました。 災害時の防災・防犯対応については、行政をはじめ、警察・行政連絡区・地域住民等が連携して、一体となり対応していくことが必要です。また、住宅防犯対策は、災害時のみならず平時から対策を行うことが重要であり、町では令和7年度において、各地区における住民の防犯意識を高めるために防犯出前講座を実施しました。さらに犯罪被害を未然に防止するため、住宅防犯対策補助金を創設し、推進しております。
50	自治・防犯・防災	北永井2区	49の質問についての意見。 町には防犯カメラも設置されているため、カメラによる監視を行っていることを発信するだけでも抑止力になると思う。	貴重なご意見として承りました。
51	環境	藤久保4区	瓦礫の回収について、年1回対応いただき大変助かる。年2回ぐらいになると嬉しい。	処理困難物の有償回収について評価いただきありがとうございます。 この回収は、町内業者の協力を得て実施しておりますので、今後、開催場所や頻度について検討するため、協力業者と相談を重ねて参ります。
52	環境	藤久保4区	町道藤久保88号線にて不法投棄が発生している。町で借り上げ、休憩スペース等に整備する等、対応を検討してほしい。今すぐに対応できる話ではないことは理解している。	私有地への不法投棄物の撤去については、原則として土地の所有者（管理者）が行っていただくこととなりますが、費用面や心情面で撤去が進んでいかない状況です。町では費用面での支援として撤去費用に対する補助金を創設いたしましたが活用いただけれておりません。 この状況が継続していくことは周辺環境にも影響を与えますので、撤去から再発防止策を講じるまでの部分について、町として積極的な関与を行うべく検討を進めて参ります。
53	まちづくり全般	藤久保4区	農家の高齢化により、耕作放棄地が出ている。地権者が対応しなければならないこともあると思うが、他自治体では草刈り機を自治体で購入し、農家に貸し出す制度もある。不法投棄、雑草、虫対策として同様な取組を考えてほしい。	今年度より耕作放棄地については、町を通して、耕作できない方が耕作をしてくれる方に委託をする制度「農地適正管理作業受託事業」を設けたため、同取組による改善を図りたいと考えております。ご提案いただいた草刈り機の貸出も一つの案であり、検討していきたいと思います。
54	拠点施設	藤久保4区	道の駅構想について。他と同じような道の駅を造っても厳しい。尖った案が必要。首都圏への出入口として立地は良いため、道の駅に宿泊施設や仮眠ができるもの、入浴施設があると起爆剤になり得る。需要の有無から調査をしてほしい。	道の駅の機能として、当初サウナや足湯も考えておりました。今後、検討を進めて参ります。
55	まちづくり全般	藤久保4区	唐沢小学校の通学路の草が高くなっている。町による制度をどんどん発信してほしい。	承知しました。
56	公共交通	藤久保6区	循環ワゴンについて。藤久保6区近くバス停を教えてほしい。 バス停の位置が区のイベントと被るときもある。	イベント等の特定の日、ルートを変える等の検討も可能です。
57	道路	藤久保6区	アクロスプラザから所沢方面へ行く道路（町道幹線17号線）に、歩行者保護を目的とした黄色の鉄のポールが立っている。歩行者は少ないが、車通りが多い。車に対応した変更として、鉄のポールから樹脂のポールへ変更してほしい。	日常的に車両通行されている一部の住民からは、設置当初より鋼製車止めに関する改善要望をお受けしている状況です。令和4年2月の設置から一定期間を経て、当該区間を通行する運転手の安全意識向上並びに注意喚起の効果は着実に得られてきたと考えております。今後は通行車両の立場にも配慮した安全施設として、どのような改善が可能か検討して参りたいと思います。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
58	自治・防犯・防災	藤久保6区	藤久保6区の役員をやっているが、自治会の行事に魅力を感じない。自治会加入者は区費を納めてもらっているのに、複数回募金をお願いする取組や運動会に駆り出されるなど、マイナスなことが多い。自治会は、町と町民の架け橋であるため、魅力化させた方がよいため、近隣の自治会等で魅力的な行事があれば情報共有をしてほしい。 また、募金活動の期日が複数回に分かれており、複数回の募金依頼が必要となるため、期日を統一してほしい。	「地域コミュニティ活性化事業支援補助金」については、それぞれの行政連絡区の特色に応じた各種行事の実施など、全行政連絡区に活用いただいております。令和7年度については、新規補助メニューとしてDX補助事業を追加しました。 また、一部の行政連絡区においては、町のポータルサイトに個別の事業を掲載しているので、他の行政連絡区にも掲載を促すことで情報共有を行っていくこともできると考えます。 今回いただいた意見等は、区長会定例会議に報告するとともに、今後について意見交換等を行いながら考えていきたいと思います。
59	自然・公園	藤久保6区	富士塚第1子供広場の真砂土工事について。雑草軽減対策で工事を行ったはずだが、整備した地面からノウゼンカズラが生えてきている。せっかく整備したばかりなのに、どうなっているのか。併せて、木陰スペースの上の植物をノウゼンカズラではなく、藤に変更してほしい。藤に変更すればこのようなことにはならないかと思う。	富士塚第1子供広場の工事について、公園整備を実施しましたが、ノウゼンカズラの根が取り切れず生えてきている現状については把握しております。対応につきましては検討しております。 また藤の植栽については、根が深く、成長が遅いため、ノウゼンカズラのように地面から生えてくる可能性は低いと考えられますが、藤も生育に適した環境であれば、根が広がりやすい植物です。そのため、植栽場所や規模などを慎重に検討し、管理しやすいように配慮する必要があると考えておりますので、専門業者に相談し、可能な限り検討して参ります。 子供広場の管理については、できる限りのご協力を行政連絡区にお願いしております。特に清掃や雑草の除草などの作業についてお願いしておりますが、作業上難しいと思われる場合は、公園担当にご相談ください。
60	教育・文化	藤久保6区	感謝を伝えたい。 息子が、第一回のマレーシアの派遣に行った。その後、マレーシアの大学に1年留学、アジアの商社に勤め、外国に5年間出向した。中学時代の若い時代に海外での経験ができたことは三芳町のご尽力のおかげであり、感謝している。これからも続けてほしい。	議会や住民の皆さまのご意見も踏まえながら、今後も対応して参ります。
61	公共交通	藤久保6区	シェアサイクルについて。ヘルメットの未着用について、安全面との両立はどう考えているのか。また、右側通行、危険な横断など、ルールがめちゃくちゃになっている。大人や高齢者に対する安全教育を広めてほしい。	自転車の走行マナーやヘルメット着用は大切であり、町としても啓発活動を引き続き行って参ります。ヘルメット購入費用補助の拡大についても、担当課と相談して参ります。
62	公共交通	藤久保6区	循環ワゴンについて。藤久保6区集会所にバス停を設置するとあるが、公園前である。夕方には、こどもの自転車が止まる。場所を再考してほしい。	藤久保6区集会所前の道路は、交差点との距離の関係でバス停の設置が難しい状況です。様々なルールを勘案しながら、藤久保6区集会所周辺でバス停を設置することを考え、原案となっております。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
63	まちづくり全般	藤久保6区	町のDXについて。母がスマホやネットを使う際に、怖いとよく言う。高齢者向けの対策を取り、それを住民へ告知しながら、まちのDX化を進めてほしい。	高齢大学等でのスマホ教室や、学校ではメディア教育として新たな授業を実施しており、子どもから大人までの教育を引き継ぎ進めていきたいと思います。
64	道路	上富1区	県道56号（八軒家～所沢の永井地域）について、県道と町道の交差点のポールが倒されている。大型車が回る際に巻き込んだと考えられる。対策として、町道の幅を広げないと巻き込みが増えるのではないかな。	現在、八軒家の交差点（ふじみ野市との行政境）において三芳町、埼玉県及びふじみ野市の3者による交差点拡幅を実施しており、三芳町道部分については先行して拡幅整備が完了しました。令和7年度に県道部分、令和8年度以降でふじみ野市道部分の拡幅を行い、拡幅工事が完了する予定です。また、その他の町道と交わる県道交差点についても、安全対策が必要と思われる箇所においては埼玉県へ交差点拡幅への事業着手を要望している状況です。 なお、車止め（ポール）の破損については、管理者が三芳町と埼玉県のどちらであるかを速やかに調査し、通行上の危険性がある場合は早急な対処をして参りたいと思います。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
65	公共交通	上富1区	循環ワゴンについて。住民や利用者のニーズをしっかりと調査をしてから走らせてほしい。現在、社会福祉協議会にて一人暮らしの高齢者向けにお買い物ツアーというバスが走っている。この施策を知らない住民も存在している。ライフバスと同じ時間に走るのであれば、利用はしない。デマンドと同じように、効果が無く、すぐにやめることにもなりかねない。	循環ワゴンは試験的に1年間実施するため、実証運行前後で皆さまのご意見を伺い、対応したいと考えております。 これまでの課題として、ライフバスが通らない地域に交通空白地域があり、この地域をカバーする対策として循環ワゴンの実証運行を実施する運びとなりました。そのため、循環ワゴンについてはライフバスが通らないルートを運行する予定となっております。社会福祉協議会の支援事業は福祉施策として実施されておりますが、循環ワゴンは全住民向けのサービスとなりますので、高齢者に限らず、皆さまの意見を伺いながら考えて参ります。
66	拠点施設	上富1区	藤久保地域拠点施設は老人クラブが使える旨の説明があったが、老人には使いにくい場所のように聞く。ガラス貼りの部屋、かつ学校との複合施設という状況で、飲食・談話・カラオケをするのを考えると、住民からの苦情が来ないか心配。娯楽はほかの会場を活用する等の余地はないか。また相談させてほしい。	藤久保地域拠点施設では、様々な活動が表出することにより新たな交流が生まれることを目指し、比較的ガラスによる間仕切りを多用しています。交流室については、外部側はブラインド、廊下側はロールスクリーンにて視線を遮って利用することもできます。 また、藤久保地域拠点施設3階には、大会議室の設置を予定しており、他の施設の影響を受けることなく独立した使用ができます。藤久保地域拠点施設には、様々な部屋があるため、利用に応じて部屋を選んで利用していただければと思います。 当日回答のとおり、公民館や他施設の利用も含めて高齢者福祉に役立てていただければと思います。
67	自治・防犯・防災	上富1区	防災庁の誘致について。所沢、狭山、入間等の地域への設置という話題があったが、硬い地場を活かし、三芳町も手を挙げた方がよかったのでは。	防災庁の地方誘致については本庄市も名前が出ており、埼玉県内で誘致合戦を行うのは望ましくないようにも感じております。 三芳町の道の駅案は防災拠点の案もあり、埼玉県内に誘致した防災庁が関越自動車道を通して、三芳町の道の駅を拠点にするということもあるかと思います。
68	まちづくり全般	上富1区	人口減少の中、今後、人口を増やすためにどうするかは非常に難しい問題。町長からのお話で、子育てに力を入れる話があったが、農業の継承等も考える中では結婚も重要。結婚窓口等の設置状況など、取組を教えてください。	県のマッチングシステム「SAITAMA出会いサポートセンター」に参加をし、結婚等への支援を行っております。
69	道路	上富1区	けやき並木通り（県道56号）の草が管理されておらず、汚い。世界農業遺産認定地域として、予算をかけて対応しても良いのではないかと思います。	これまでも地域からの要望を受け、道路管理者である埼玉県川越県土整備事務所へ対応を依頼してきておりますが、当該路線は毎年定期除草を実施する路線とはなっており、必要に応じ部分的に対応いただいている状況です。世界農業遺産認定地域、ガーデンツーリズムのメインエリアであることもしっかりと伝え、計画的な維持管理を実施いただけるよう道路管理者へ再度要望いたします。
70	拠点施設	上富2区	上富小学校が無くなることは、住民にとってはショックだが、上富が住む地域から人が訪れる地域に変わっていくことが重要だと思う。そこで、上富小学校の跡地利用をどう考えているか、教えてください。	学校再編等審議会において、再編後の跡地利用に関する検討要望がございました。再編後の跡地利用については、これから皆さまと一緒に検討したいと考えております。
71	公共交通	上富2区	上富地域に訪れる人が増えてきたが、シェアサイクルが上富にはない。上富にも広げてほしい。	ご要望の件について、事業者と協議を進めて参ります。
72	拠点施設	上富2区	道の駅について。小川町や桶川の道の駅の成功のポイント、三芳町の道の駅のポイントを教えてください。	成功要素として立地が重要であり、三芳町は東京への出入口となるため、好立地と考えております。単なる休憩所ではなく、小川町の道の駅に習い、世界農業遺産のミュージアムや農業体験、食事等をコンセプトにしたいと考えております。また、三芳町の物産に限らず、水産物や埼玉県全体のお土産等、東京への出入口に相応しいものを選定したいと考えております。
73	まちづくり全般	上富3区	CFCIについて。三芳町が他自治体より子どもたちの育つ環境として優れている点を教えてください。	一例として、他自治体よりも力を入れて取り組んでいる国際交流がございます。最近では韓国との交流や、マレーシアから中学生120名が来町し交流しました。その他、芸術文化事業や英検の助成事業等にも取り組んでおります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
74	道路	上富3区	関越自動車の騒音対策について。関越自動車道側道（東草橋南付近）は、車の騒音がひどくなったと聞く。遮音壁の高度が低いことが原因だと思う。対策を考えてほしい。	ご指摘の点については、関越自動車道を原因とする騒音問題であるため、これまでもネクスコ東日本へ相談しております。関係課と連携の下、ネクスコ東日本へ再度対応の要望をいたします。
75	自治・防犯・防災	上富3区	防災無線が聞きづらい地域もあり、対策できないか。	防災無線の音量については、場所によっては音が大きいというご意見もございます。無線の音が聞こえにくい具体的な場所がございましたら、お伝えください。無線の向きを変える等の対応も検討して参ります。
76	まちづくり全般	上富3区	英検補助などの英語教育の話があった。なぜ英語圏ではなく、韓国やマレーシアと交流をしているのか。	国際交流の主目的は多文化交流となりますので、英語圏に限らず広く交流を行っております。
77	自治・防犯・防災	上富3区	震災が増えているが、隣接自治体とのコミュニケーションは行われているのか。これまでの大規模地震にて、自治体格差があるような話もあった。また、能登半島地震で派遣した職員の意見を吸い上げ、どう活かす考えなのか教えてほしい。熊本地震では、自宅避難も多かった。東京都は自宅避難推奨の啓発も行っている。三芳町では、自宅避難に関する啓発が少ないように感じる。	町では、豊島区・栃木県上三川町・新潟県津南町等と防災協定を結んでおり、状況に応じた支援体制を整備しております。過去には二市一町にて、持ち回りによる避難訓練を行っていましたが、訓練の形骸化等により、各市町での避難訓練へと移行した経緯がございます。自宅避難の選択肢についても承知しており、住民の皆さま・防災担当者と併せて話し合っていきたいと考えます。
78	まちづくり全般	上富3区	令和7年5月28日に世界農業遺産認定地域の韓国ハドン郡との意見交換会を行ったが、「世界農業遺産の展望」に関する内容が薄かった。展望の内容について伺いたい。また、農業経営者は農業収入だけでの生活は厳しい。世界農業遺産を残すために、肥料や農業資材の支援が必要と考える。	世界農業遺産の認定を受けた地域同士での交流（情報交換）が今後必要だと感じております。これまでに認定地域同士で交流した地域はないと認識しており、今後の展望として考えております。また、認定を受けたことがゴールではなく、スタートだと考えております。継承していくための支援を考えて参ります。
79	拠点施設	上富3区	上富小学校の跡地に道の駅を作る話を耳にした。このことは、住民はあまり知らない。最近、体育館に空調を整備したが、これはどうなるか。	学校再編等審議会において、上富小学校の統廃合と跡地利用検討の必要性について答申がなされておりますが、道の駅としての利用を直接指すものではございません。再編計画を策定した後に、跡地利用や空調活用を考えて参ります。
80	公共交通	藤久保2区	循環ワゴンについて。実証運行が1年というのは短い。2年程度実施してほしい。	循環ワゴンの実証運行は1年を予定しており、この1年間での運行状況を見ながら、本格運用へ移行する予定となっております。
81	教育・文化	藤久保2区	学校給食費の無償化を行ってほしい。	学校給食費の無償化は、経常的に年間1.4億円ほどの支出が発生するため、その他の支出を削減する必要もございます。引き続き、国や周辺自治体の動向を注視して参ります。
82	まちづくり全般	藤久保2区	物価が高騰している。また、町民の手取り収入も少ない。庶民は苦しんでおり、特別職である町長等には十分ご配慮いただきたい。	多くの自治体において、財源が厳しい中、国の交付金を活用し様々な物価高騰施策を実施して参りました。今回のご質問についても、ご要望として承ります。
83	拠点施設	藤久保2区	藤久保地域拠点施設について。建築費の増額の話があったが、住民の負担が増加しないか。	これまで財政調整基金を積み上げており、今回の増額分については同基金を活用する予定となります。
84	まちづくり全般	藤久保2区	共生社会について。川口市などで事件が起きる中、安全対策をどう考えているか。	地域における外国人との共生、文化を認め合うことは重要なことであるため、良い関係を構築していきたいと考えております。
85	まちづくり全般	藤久保2区	オーバーツーリズムなどが京都やニセコで問題となっている。ガーデンツーリズムを進める中で、住民が暮らしにくくならないか心配だ。	来訪者のマナー問題等については、マナーを遵守していただけるよう周知し、住民が安心して暮らせるまちを目指して参ります。
86	自治・防犯・防災	藤久保2区	集会所には防災機器がないため、Wi-Fi整備などにより情報把握できる体制を整備してほしい。	今年度より、行政連絡区へはDX推進事業を新たな項目とし、集会所へのデジタル環境整備支援への補助を行っております。予算としては5件分となりますが、要望が多い場合は予算を増額することも検討して参ります。

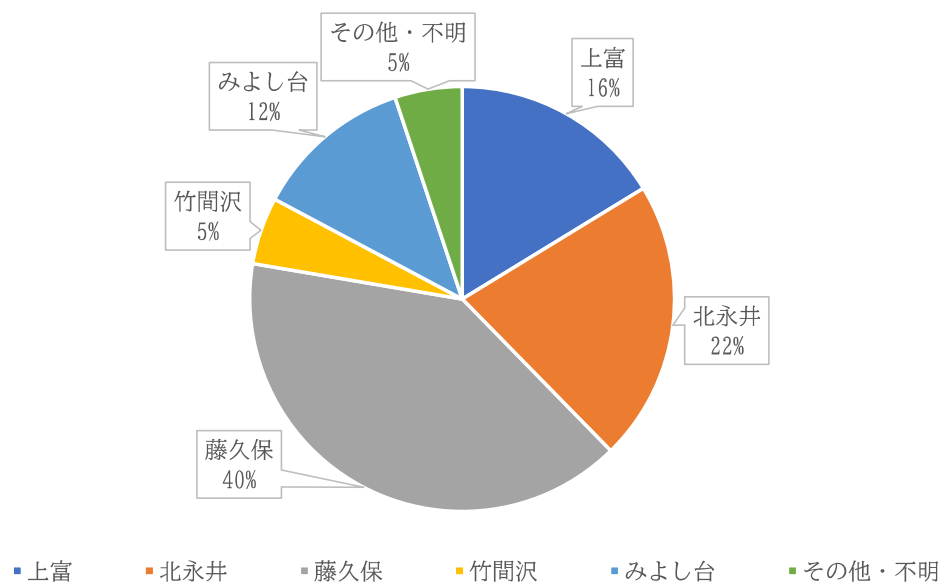
番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
87	教育・文化	藤久保2区	2021年3月の公共施設マネジメント基本計画において、8校ある小中学校を4校にする考えとなっている。上富小学校についての答申もあったが、最終的にはなぜ廃校にするのかという問題点がはっきりとしない。通学が大変になるのではないか。	少子化で子どもの数が減っており、各自治体で学校の統合等が課題となっております。上富小学校は市街化調整区域であり、今後、人口増加を見込むことは難しい状況です。そのような状況の中、子どもたちのより良い教育環境を考え、学校再編を検討する中で、保護者アンケートを実施しました。そのアンケート結果では、上富小学校と三芳小学校の統合の必要性について、約60%の賛同を得られております。今後、再編計画を策定していく中で、通学方法の一つとして、スクールバスの導入などを考えて参ります。
88	道路	北永井3区	スマートICがフル化したが、出入口に信号がない。危険なケースも見受けられるなか、対策はあるのか。	令和6年度に幹線道路における交通量調査を実施しました。交通量調査の結果を踏まえ、信号の設置について警察協議を行いました。設置が認められませんでした。今後も引き続き交通状況を注視しつつ、必要に応じて要望を行って参ります。
89	自治・防犯・防災	北永井3区	子ども110番の家について。在所在宅を条件にすると、登録数が減ると回答があった。本来の趣旨からすると、駆け込んだ際に助けてもらえることが重要。子ども110番の家の周知等を一斉下校時やスクールガードにも周知してもらう方が良い。	周知について、連携を進めて参ります。今回のご提案のように学校、スクールガードとの連携のほか、通学班との連携も考えられますので、関連各課と手法について検討を進めて参ります。登下校時の在宅在所への協力については、新規登録・登録更新処理の際にあらためてお伝えし、有事に際し有効に機能するように努めて参ります。
90	自治・防犯・防災	北永井3区	子ども110番の家について。自宅を110番の家として登録しているが、これまでに子どもが行ったことはない。いくらマークを家に貼っていても、日常的に認識していなければ活用はされない。110番の家とこどもの交流の場があると、より生きた取組になるのではないか。	一斉下校時に通学班で設置個所を確かめながら下校するなどの取り組みが考えられます。その際にご提案のように登録企業・家庭へも協力を依頼し、街頭に出いただき声掛けをしていただくなどの連携も考えられます。子ども110番の家の内容充実に向けた数々のご提案をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。
91	自治・防犯・防災	北永井3区	子ども110番の家について。位置情報付きの防犯ブザーみたいなものを配布し、ボタンを押せば地域住民が助けに行くような取組が子ども110番の家として適当だと思う。押せば来てくれるシステムの方がいい。	今回ご提案いただいた点についても、研究していきたいと考えます。
92	まちづくり全般	北永井3区	印鑑証明や住民票など他自治体ではコンビニ発行していると聞く。三芳町の展望を聞きたい。	戸籍謄本や税証明証等の発行につきましては、情報連携の開始により従来必要であった証明書等の添付が省略できるなど、発行件数が年々縮小傾向にあります。しかしながら、住民の方の利便性の向上を鑑み、コンビニ交付につきましては、今後の国の電子化や情報連携の広がりなどの動向と、費用対効果を含め検討したいと考えます。
93	拠点施設	北永井3区	藤久保地域拠点施設の愛称案について。日本語の案は無かったのか。	日本語案もございましたが、選考の結果、3つの候補に絞られた形となります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
94	拠点施設	北永井3区	道の駅について。立ち止まった検討が必要と考える。道の駅の立地もスマートICの下りであり、町道幹線14号線から入らないとたどり着かない。道の駅として繁盛するには、施設の充実が重要。 上富小学校は素晴らしい学校であり、跡地に道の駅を持つていくことについて、教育的な視点からも再考してほしい。	道の駅については、政策研究所等での検討を重ねてきました。三芳町は、都市近郊という立地面でのポテンシャルを持っておりますので、今後慎重に進めていきたいと考えております。また他の事例として、小川町にも道の駅があり、ここは入り組んだ場所にありながらも、賑わいを見せております。小川町の特産品の他、埼玉県の物産を多く取り扱っておりますので、参考にしたいと考えます。 また、全国的に少子化が進んでおり、三芳町でも同様となっている中で、小中学校適正規模適正配置検討委員会において、子どもたちにとって望ましい学習環境を考え、その結果を基に、学校再編等審議会にて、上富小学校を三芳小学校へ統合する答申がなされました。保護者アンケートを取った結果、約60%の賛同を得られました。今後、具体的な再編計画を策定し、議会等でも審議を図って参ります。その後、再編が具体的に決定しましたら、跡地利用について考えて参ります。
95	教育・文化	北永井3区	こどもに意見を聞いたとあったが、「統廃合になったら」のような聞き方であり、統廃合することを前提とした質問のような気がしている。担当は教育委員会かもしれないが、適切な聞き方をしてほしい。	子どもの意見を聞くことは大切なことでありますので、誘導のような聞き方は当然すべきでないと考えます。子どもたちにとって何が良いことなのかを真摯に聞いているところになります。
96	拠点施設	北永井3区	上富の景観を維持したまま、道の駅の整備へ移らなければ本末転倒。保全を考えたうえで、しっかりと計画をたててほしい。	世界農業遺産の認定は自然や環境の保全も目的であり、今後の保全についても課題と考えます。保全に向けた啓発活動等を通して、応援していただける方を増やしていきたいと考えており、道の駅についても、啓発における一つの拠点として活躍できればと考えております。
97	環境	北永井3区	1万平米を超えた開発では、約2割の緑地が必要だが、何年かすると緑地が枯れ、放置されている。役場からの指導はできないか。	緑地（緑化）率を確保するよう開発指導要綱に基づき開発時の指導を行なっております。ご質問いただいた開発後の緑地管理に関する監視指導権限を有していないため、あくまでも緑地の適正管理についてのお願いとなりますが、個別に対応して参ります。
98	健康・福祉	北永井3区	ふれあいセンターについて。日々、活用している。冷暖房のトラブルなどもあり、新しいところを作ったらどうかと数年前に協議もあった。ふれあいセンターの廃止について耳にした。藤久保地域拠点施設の中にふれあいセンターのようなものを作ってもらえると思っていた。今現在のふれあいセンターの取扱いについてわかることがあれば教えてほしい。	藤久保地域拠点施設の中に、ふれあいセンターの機能を集約することになります。ただし、活動の内容によっては、公民館などを利用して頂く場合もあるものと考えますので、公民館等の利用について配慮をしていきたいと考えます。
99	公共交通	北永井3区	ふれあいセンターの利用率は70%を超える。今後公民館等の利用も想定するのであれば、移動手段も考えてほしい。	令和7年10月運行開始予定の町内循環ワゴンを活用していただきたいと考えます。
100	まちづくり全般	北永井3区	三芳町に住む外国籍の方は、1000人を超える。町内の外国人との交流は大切であり、それを留意した計画を立てて欲しい。	町内在住の外国籍の方との関わりについて、昨年のみよし祭りではブースを設置しました。今後も外国籍の方との共生をしっかりと計画に入れていきたいと考えます。
101	拠点施設	藤久保5区	藤久保地域拠点施設の名称について。候補に「ルミナ」とあったが、ルミネが思い浮かべる。マネと思われる懸念はないか。	愛称については、選択肢として3つに絞った状態となっております。今後住民の皆さまの投票にて決定する予定となります。
102	道路	藤久保5区	川越街道の中央分離帯の雑草がひどく、道路の見通しが悪い（藤久保5区と藤久保6区のエリア）。県へ要望をするも動いてくれない。町で整備受託をできないか。	川越街道中央分離帯の除草については、春から秋にかけて毎年のように町へ多くの要望が寄せられています。そのため、道路管理者である埼玉県川越県土整備事務所へは頻繁に対応の依頼をしている状況です。川越街道の除草作業については、以前より年2回の定期除草を実施していると聞いていますが、ここ数年は繁茂状況が酷く、見通しの悪い期間が長いように感じています。除草時期の前倒しや回数を増やす等の対応ができないか道路管理者へ再度要望いたします。

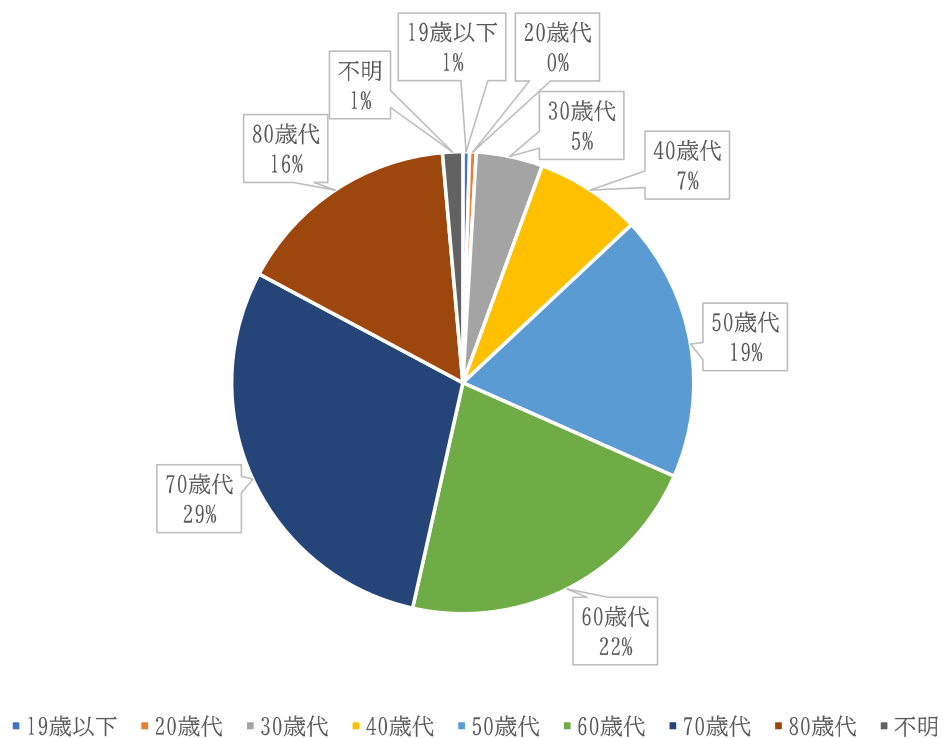
番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
103	道路	藤久保5区	川越街道の混雑により、抜け道を進む車がかなりのスピードで入ってくる。ワゴン車がひっくり返る事故もあった。過去には、東入間警察署への要望も行ったが、立て看板やカーブミラーの設置のみ。改善をお願いしたい。また、エリア30に指定してほしい。	2026年に予定されている道路交通法の改正により、生活道路の法定速度が30km/hに引き下げられる予定です。そのため、生活道路の速度抑制や抜け道通行の抑制対策であった従来の「ゾーン30」によらずとも、通行車両に対しては法的な速度規制が課せられるようになり、「ゾーン30」としてのエリア指定は今後不要となる見込みです。法改正後においても危険性が拭えない場合は、周辺環境に配慮の上で物理的デバイスの設置を検討して参ります。 なお、今回ご要望のあった事故発生交差点については、これまでに町へ安全対策の要望が寄せられている箇所となりますので、通行車両への更なる注意喚起をすべく今年度中に交差点内の路面標示引き直し及び追加の路面標示設置を行う予定です。
104	自治・防犯・防災	藤久保5区	DXの取組について。区長の会議は平日であるが、全く力になれていない。土日開催であると職員の休日出勤が発生する。オンライン会議やeラーニングの研修があるといい。今後の取組予定等を教えてほしい。	庁内のDX化は進んでおりますが、住民の皆さまに関連するDX化も進めていきたいと考えております。行政連絡区へは、DX推進事業を新たな項目とし集会所へのデジタル環境整備支援への補助を行っており、引き続き取り組んで参ります。
105	環境	藤久保5区	関越自動車道の側道や平地林にゴミが捨てられている。春と秋などに撤去してもらえると良い。また、三芳PAの利用者はとても多いため、地元野菜のスペースがもう少し広いと良い。	私有地への不法投棄物の撤去については、原則として土地の所有者（管理者）が行っていただくこととなりますが、費用面や心情面で撤去が進んでいかない状況です。町では費用面での支援として撤去費用に対する補助金を創設いたしましたが活用いただけておりません。 この状況が継続していくことは周辺環境にも影響を与えますので、撤去から再発防止策を講じるまでの部分について、町として積極的な関与を行うべく検討を進めて参ります。 また、道の駅への導入機能として、物販アンテナショップ機能を予定しており、その中で地元野菜の充実を図りたいと考えております。三芳PA内の地元野菜の販売スペースについては、ネクスコ東日本へ要望があったことをお伝えさせていただきます。
106	道路	藤久保5区	町道幹線14号線について、スマートIC周辺が渋滞をしている。夕方には1kmくらいになることもあり、追突事故等の危険もある。道の駅ができるとより大変な状況になるのではないかな。	渋滞対策については、今後も引き続き交通状況を注視しつつ、必要に応じて対策を検討して参ります。また、道の駅整備による更なる渋滞対策についても、道の駅の計画段階から併せて検討して参ります。
107	教育・文化	藤久保5区	さいたま市では英語力が全国1位という新聞もあった。国際化に加え、教育面で英語力を高めてほしい。	ALTの配置などを通して、三芳町の英語力も高くなっていると感じております。マレーシアから120名の生徒を受け入れたり、韓国からも10名の生徒を受け入れ、交流をおこなっており、三芳町の伝統として、継続して参りたいと考えます。
108	まちづくり全般	藤久保5区	広報みよしの外国語対応版はあるのか。	広報自体はPDFで掲載しているため多言語翻訳はされませんが、広報に掲載される記事の中で、ホームページにも掲載するものはホームページの機能として多言語対応しております。 また外国語での対応を希望される場合は、ふじみ野国際交流センターに翻訳等を依頼することができます。

3. 来場者アンケート結果

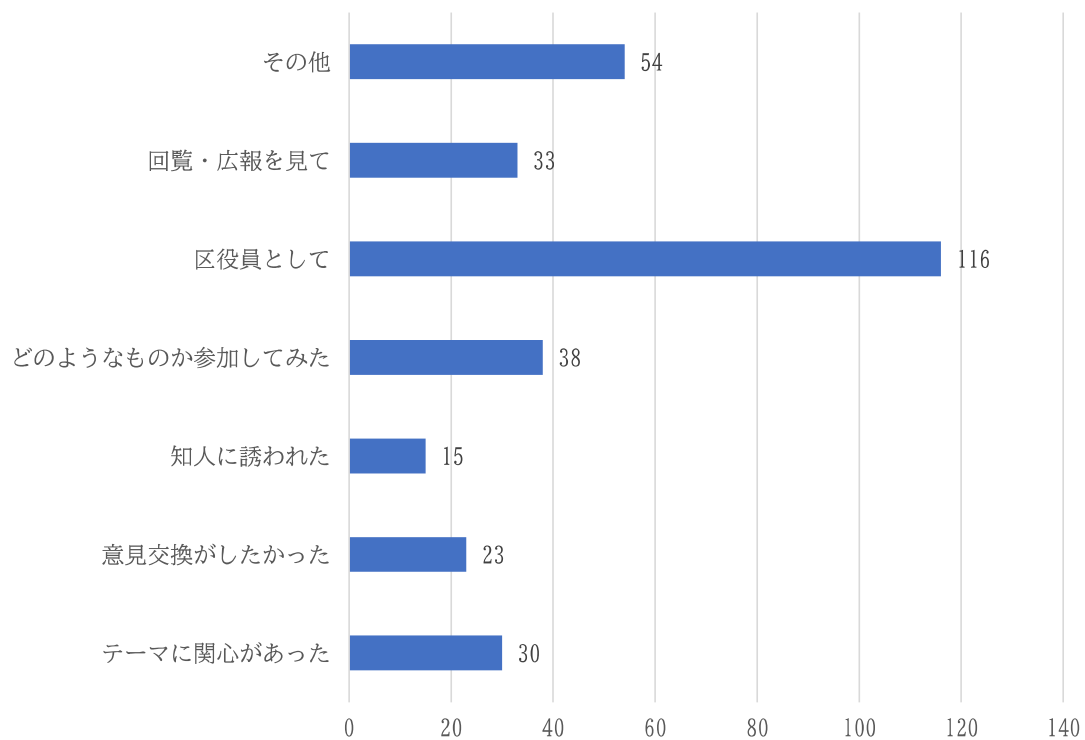
お住まいの地域



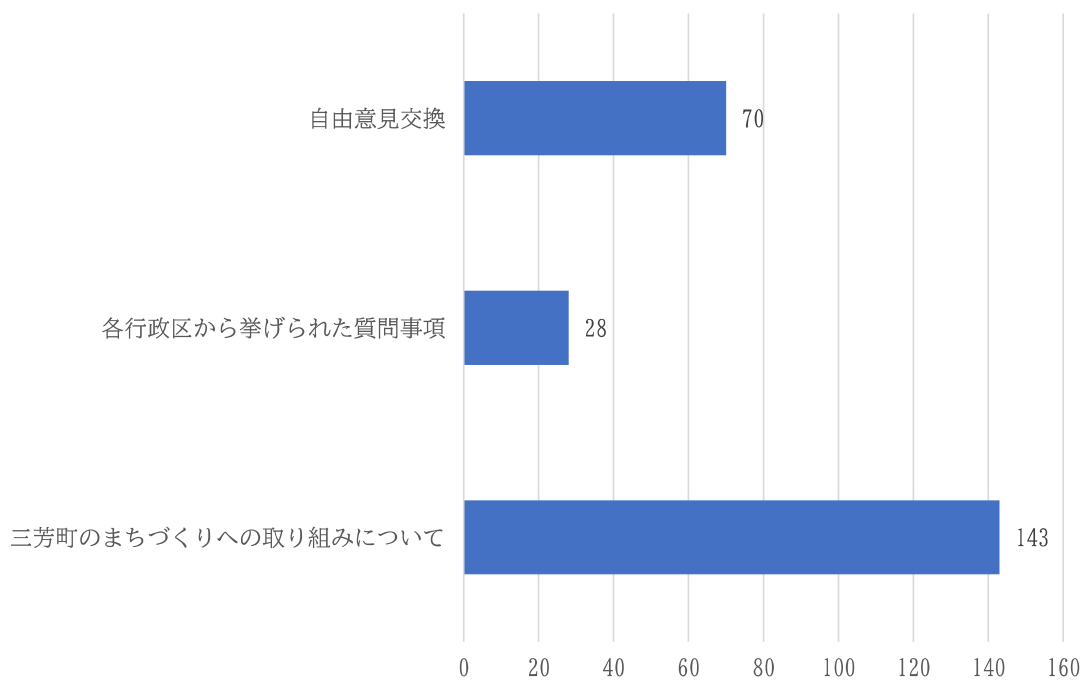
年齢



まちづくり懇話会に参加した動機（複数選択可）



興味をひいた項目（複数選択可）



次回希望テーマ

① 高齢者福祉・介護・老後
老人の居場所について
高齢者福祉について
一人暮らしの老後について
介護について少し詳しく知りたい
高齢者対策
② 子育て・教育
子育て支援や障がいのある子ども、家庭への支援
小学校の合併のこと
小学校統合計画と低学年の通学方法
公共施設マネジメント計画の町内小中学校の統廃合の件について
③ まちづくり・開発・観光
道の駅について、もう少し詳しく
道の駅について
通西開発
町内の観光ルートについて
④ 防災・安全対策
防災問題
震災時対応
防災について
⑤ 行政・財政・政策運営
DX 導入による成果と今後の対応
税金の使い道
財政状況と今後の見通し及び課題
住民へ負担が生じることを丁寧に説明してほしい（国保保険料、予算決算）
⑥ 環境・インフラ・ごみ問題
北永井の道路の件
ワゴンのバス停について
⑦ 地域コミュニティ・自治
自治会の会員維持の取組
外国人との共生社会について
⑧ 将来展望・ビジョン
10年、20年後の三芳町のあり方

意見・要望等

① 高齢者福祉・介護・交流	
	ふれあいセンターの今後の予定は。継続してほしい。
	高齢者福祉に力をいれてほしい。フレイルチェックに興味を持ったため、参加したい。
	お年寄りの居場所づくりを要望する。（高齢者食堂、フレイル対策と介護予防、高齢化対策モデル地区指定の検討、コミュニティカフェづくり等）
	行政がマンションの一室を借り上げ、高齢者の居場所づくりを。朝霞市の高齢者交流施設や富士見市のいきいきふれあいセンターなどを参考に。
	スマートパーキングの産業施設に地域住民が使用できるスーパーが欲しい。
②福祉・まちの暮らし全般	
	町民が明るく楽しく和やかに住むことのできる住みやすい福祉のを目指してほしい。
	大きな建物ではなく歩いて行ける場所に、気軽に集まれる場所が欲しい。サロンのような。集会所は事前許可が必要なため。
	行政区の制度自体は、農家を中心とした時間調整ができる人がいる、前提の制度。町外で働く勤労世代が参加しやすい仕組みにしてほしい。住民ボランティア精神の搾取となる。
③移動・交通・道路整備	
	運転しなくなった後のバスの便利さを期待する。
	三芳スマート IC の出入口に信号を設置してほしい。
	都市計画道路の早期実現。
	マンション前の道路において、毎年の豪雨の際に川ができる。改善を要望する。
	道路街路樹の剪定をしてほしい。
	街路樹の種類は落葉樹ではなく、常緑樹にしてほしい。
④ICT・情報発信	
	回覧板の配布物を PDF で送付するなど、IT インフラの充実をしてほしい。
	町の取組の情報発信方法をもっとわかりやすく、目の付く方法を検討してほしい。
	迷子のアナウンスについて。結果も知らせてほしい。

⑤行政運営・町政・住民参加	
	一つの課だけでは解決できない課題がたくさんある。ミニプロジェクトチームを作り、解決してほしい。
	一般町民が参加できるまちづくりの実現を要望する。
	町民を主体にした町政を進める必要がある。
	町民に目を向けた足元の行政に取り組んでほしい。
	住民の声をよく聴きながら実行してほしい。
	まちづくり懇話会が町長の PR の場となっている。もっと様々な課題について話し合う場にしてほしい。
	町長のまちづくりの方程式が具体的に進むように「町長のどこでもドア」が機能することを望む。
⑥教育・子育て	
	放課後子ども教室、学童、児童館、いろいろと分かれているが、つながりがよくわからない。
	近隣のさいたま市は英語教育で全国一位。良いノウハウを聞き、町でも学びながら実践する必要がある。
	若い世代の集まる懇話会があれば良い。
⑦防災・安全・治安	
	公道に防犯カメラをつけてほしい。
	防災について、周辺地域（市、町）とのオフサイトミーティングなどの実施をしているか。
⑧地域経済・農業・企業誘致	
	企業誘致について。三芳町の人口が増え、市になることを願う。
	スマート IC フル化は地域活性化に結びつかないため、遊休農地の活用による地域活性化に取り組んでほしい。農地の民間活用として、農地法の弾力的運用、都市計画（用途）の大幅見直しなど。
	上富地区の人口増加として、砂川堀沿いに住宅建設や、山林を住宅へ転用するなどの対策を希望する。農業後継者は減少をたどるばかり。
	地域拠点整備は高額すぎる。民設民営でもいいと思う。
⑨環境・自然・景観	
	三富の林の伐採が多くて寂しい。個人の所有から町の補助などで残してほしい。倉庫の町と言われると心がしぼむ。
	ゴミの放置について対策を講じてほしい。特に関越道の倉庫周辺など。

⑩開発・都市計画	
	竹間沢地域における農地と開発予定地の明確な線引きをしてほしい。
	国際交流、道の駅事業は町民アンケートなどで判断すべきでは。
	道の駅について。必要性和内容をつめる必要がある。
⑪財政・行政評価	
	新しい施設、イベントは大歓迎なので、それが持続できる現実的な財政運営を期待する。
	物価高や増税で苦しむ住民に良い知らせとなる施策を講じてほしい。行政評価、行革で無駄を減らしてほしい。